

# ローマ帝国が敗れた日 皇帝、跪く

1200年の長きにわたり世界史に影響を与えたローマ帝国。

その歴史は他国への侵攻と、侵入する異民族との戦いの歴史でもありました。

パクス・ロマーナの時代が終わり、ローマ史の末期、帝国を揺るがす事件が起こります。

今回のシルクロード英雄列伝は、時のローマ皇帝がササン朝に敗れた、エデッサの戦いのお話です。

## 新興勢力との対決 エデッサの戦い

エデッサは現在のシリアとの国境にほど近いトルコ南部の都市、シヤンルウルファにあたります。ローマ帝国は紀元3世紀に入り、ユーフラテスやシリアで頻繁に戦いを繰り返すようになり、そして紀元260年、エデッサの戦いがありました。その敵は、紀元3世紀から7世紀にかけてオリエント世界を支配したササン朝ペルシャ。アケメネス朝の栄華の復興を願ったこの王朝は、初代の王・アルダシール1世のもと、それまで西アジア一帯を支配していたバルティアを倒し、新たな西アジアの支配者として代わります。ゾロアスター教を国教とし、国家と宗教が一体となったササン朝は、ローマ帝国が東西に分裂した後も大国として君臨してきます。

エデッサの戦いでペルシャ軍を率いたササン朝の王は、初代の王・アルダシール1世の後を継いだシャープール1世でした。彼はこの戦いで、ローマ皇帝ウァレリアヌスを捕虜にしました。この出来事を記念するレリーフが、イラン各地に残っています。右下の写真は、ナクシェ・ロスタムに残るレリーフ。命乞いをするウァレリアヌスがシャープール1世に跪く姿が描かれています。中央下の写真は、ササン朝時代の巨大な円形都城址ターラーブ・ゲルド近くのレリーフ。馬に踏まれるウァレリアヌスと捕虜となったローマ兵の姿が累々と描かれています。ナクシェ・ロスタムはアケメネス朝諸王の墓がある場所、ターラーブは城の近くと、どちらも人目につく場所に彫られており、シャープール1世の偉業を誇示する目的があったことが伺われます。

## 王の王冠

ナクシェ・ロスタムとターラーブ・ゲルド近くの2つのレリーフを見ると、どちらにもシャープール1世の頭には風船のような物体が描かれています。これは王冠そのものではなく、腰まで伸ばした頭髪をひとつにまとめ、王冠の輪の上から飛び出させていたササン朝時代の王の正装です。右ページ左下の写真は、シャープール1世ではありませんがササン朝時代の王の頭像です。レリーフでは見えづらい当時の姿がよくわかります。

## ローマ兵のもたらしたもの

エデッサの戦いでは、7万人のローマ兵が捕虜となつたと言われています。シャープール1世は捕虜の一部を彼の名を冠した街・ビシャプールへと連行し、ローマ風の建築物の建設に携わらせました。ローマの優れた建設技術と土木技術は、ビシャプール以外の場所でも、橋やダムの建設に役立ちました。多くのローマ兵はその後ペルシャ人女性と結婚しペルシャで暮らしたため、現在のイランではローマ人の血を引く金髪の風貌もよく見られます。ローマ兵は、建築技術だけでなくローマ文化もペルシャにもたらしました。シャープール1世から後の時代に造られた、ターク・イ・ブスタンの遺跡には、ギリシャ神のニケをモデルにした天使のレリーフが残っています。

左 / 捕虜となったローマ兵達をもたらしたローマの建築技術や文化の影響が色濃く残るササン朝ペルシャの都市遺跡ビシャプール。

## COLUMN ニケと飛天

ギリシャ神話に登場する勝利の女神「ニケ」。ローマ帝国の建築装飾にも数多く見られます。その姿のルーツはゾロアスター教の有翼天人との説があり、東に向かって仏教の飛天になったという説もあります。ターク・イ・ブスタンのレリーフは、明らかにギリシャ風の姿をしており、ペルシャにルーツを持つ有翼天人が西へと渡り、ニケに姿を変えてペルシャに戻ったと言えるでしょう。



上 / 勝利の女神ニケをモデルにしたターク・イ・ブスタンの天使のレリーフ。  
左 / 岩山に穿たれた石窟に巨大なササン朝の浮彫が残るターク・イ・ブスタン。

シルクロード上では、交易によって文化の交流がなされましたが、時に戦乱や侵略によっても様々な交流がもたらされます。エデッサの戦いは、衰退してゆく西の勢力の文化が、勃興してきた東の勢力に注がれた例と言えるでしょう。



## 関連ツアーのご紹介



イランの旅の決定版！  
壮大なペルシャの歴史を辿る  
チョガ・ザンビールも訪問  
**ペルシャ歴史紀行**

東京・大阪発着 | 11日間



イラン東部縦断  
ペルシャ史の奥深さにふれる  
**クーヘ・ハージェから  
南ペルシャへ**

東京・大阪発着 | 13日間



ザグロス山脈とアララト山の  
山岳風景、ウルミエ湖・・・  
雄大な自然と歴史遺産の旅  
**イラン北西部周遊**

東京・大阪発着 | 12日間



上 / 王冠の上に髪を束ねたササン朝時代の王の頭像(ニューヨーク・メトロポリタン美術館蔵)。



上 / ササン朝ペルシャの対ローマ戦勝記念レリーフ。馬に踏まれるウァレリアヌスの姿と右後方に捕虜となったローマ兵達が描かれています(ターラーブ)。右 / シャープール1世に跪いて命乞いをするウァレリアヌスのレリーフ(ナクシェ・ロスタム)

